

団体名		公益財団法人武蔵野市福祉公社						
①	指 標 名	第二期中長期事業計画の着実な推進			目 標 値	平成27年度予 定事業の実施	実 績 値	一次評価欄の主な完了事業の とおり
	過 去 の 実 績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達 成 率	80.0%	達 成 状 況	未達成
	(単位:)							
	取 組 内 容	「第二期中長期事業計画平成27年度執行計画」を作成し、定期的に「第二期中長期事業計画執行状況報告書」により理事長に報告する。また、計画事業の執行にあたって、執行が不能となったとき若しくは著しく遅延したとき又はそれらのおそれがあるときは、その都度、その理由、処理状況及び対策を理事長に報告する。理事長は、進捗状況を理事会、評議員会へ報告する。						
	一 次 評 価	計画初年度で検討事業が集中したことで、未達成事業が発生した。進捗状況については、定期的な執行状況報告と理事長ヒアリングを実施し、進捗管理を行った。 主な完了事業 ：デイサービスセンターボランティアの育成/地域健康クラブのあり方の検討/補助器具センターのあり方の検討/社屋長期保全計画の策定/組織改正/つながりサポート事業/地域権利擁護事業/権利擁護レスキュー事業/生活困窮者自立支援事業/住宅確保給付金事業/成年後見人連絡協議会の設置検討/武蔵野市認定ヘルパー養成等 主な未達成事業 ：ホームヘルプセンターのあり方検討/研修体系の確立/広報の充実						
二 次 評 価	「第二期中長期事業計画平成27年度執行計画」を作成し、進捗管理を行うことにより計画の大半の事業において着実な推進を図っていることを評価する。未達成事業についても、原因を分析し計画的な遂行を期待する。							
②	指 標 名	財政健全化計画の着実な推進			目 標 値	▲16,087千円 (投資活動支出含)	実 績 値	▲34,367 一次評価欄の主な完了事業の とおり
	過 去 の 実 績	平成24年度	平成25年度	平成26年度	達 成 率	46.8%	達 成 状 況	未達成
	(単位:)	▲53,203	▲16,636 (▲24,136)	▲22,380				
	取 組 内 容	部門別に「財政健全化計画平成27年度執行計画」を作成し、定期的に「財政健全化計画執行状況報告書」により理事長に報告する。また、計画事業の執行にあたって、執行が不能となったとき、若しくは著しく遅延したとき又はそれらのおそれがあるときは、その都度、その理由、処理状況及び対策を理事長に報告する。理事長は、進捗状況を理事会、評議員会へ報告する。						
	一 次 評 価	進捗状況については、定期的な執行状況報告と理事長ヒアリングを実施し、進捗管理を行った。健全化計画は着実に推進できたものの、計画策定後決定された補助金の廃止、制度変更査定等による予期しない減収が発生したため、収支は悪化した。▲34,367。 主な完了事業 ：管理社会活動センター職員嘱託化/訪問介護コーディネーター退職不補充/北町Cサービス見直し/事務機器効率化/LED化						
二 次 評 価	「第二期中長期事業計画平成27年度執行計画」を作成し、進捗管理を行うことにより計画の着実な推進を図っていることは評価する。収支の悪化については、原因について十分精査し、今後しっかりと対応されたい。							
③	指 標 名	社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会との統合の 検討			目 標 値	望ましい組織形態 のあり方、仮に統 合するとした場合 の課題をあきらか にする。	実 績 値	検討委員会の設置 他団体アンケートの実施 他団体視察の実施
	過 去 の 実 績	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	達成
	(単位:)							
	取 組 内 容	・市及び社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会とともに、統合検討組織を事務レベルで設置し、市民共助による福祉を推進していく上で望ましい組織形態のあり方、両団体を統合するとした場合の法人形態をはじめ団体運営等における具体的な課題を明らかにしていく。 ・検討結果に基づき、両団体の関係者等を含めた統合検討組織を設置する。						
	一 次 評 価	両団体及び地域支援課長、高齢者支援課長による検討委員会を設置。各団体の概要、人事給与と制度、役割、統合メリット、デメリットの検討、統合済団体（府中市、藤沢市）の視察等を実施した。引き続き統合手法等を検討中。						
二 次 評 価	検討委員会を設置し、実務的な視点による統合手法を検討している。検討結果については報告書を作成するなど公表し、統合の準備を進めていただきたい。							